

# 令和7年度JST情報サービス利用者の満足度調査 (Jxiv 投稿者 (日本語))

2026年1月21日

国立研究開発法人科学技術振興機構

# ■ 目次

---

■ 目次	1
■ 調査概要	2
■ 回答者プロフィール	3
【調査結果 詳細】	
■ Jxivをどこで知ったか	8
■ Jxivに投稿したプレプリントに対し、得られた反応や反響	9
■ Jxivが自身の研究活動に有用な点	10
■ Jxivが自身の研究活動に有用でない点	11
■ Jxivの投稿に関する機能のうち有用なもの	12
■ Jxiv以外で投稿したことがあるプレプリントサーバ	13
■ Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿した理由	14
■ 研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思うか	15
■ Jxivが近年リリースした機能・サービスのうち知っているもの	16
■ Jxivへの意見・要望	17
【質問票】	
■ 質問票	19

# ■ 調査概要

## 調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

## 調査対象

Jxiv公開論文著者へのDM受取者

## サンプル数

57件

## 調査手法

インターネット調査

## 調査期間

2025年11月20日（木）～2025年12月23日（火）

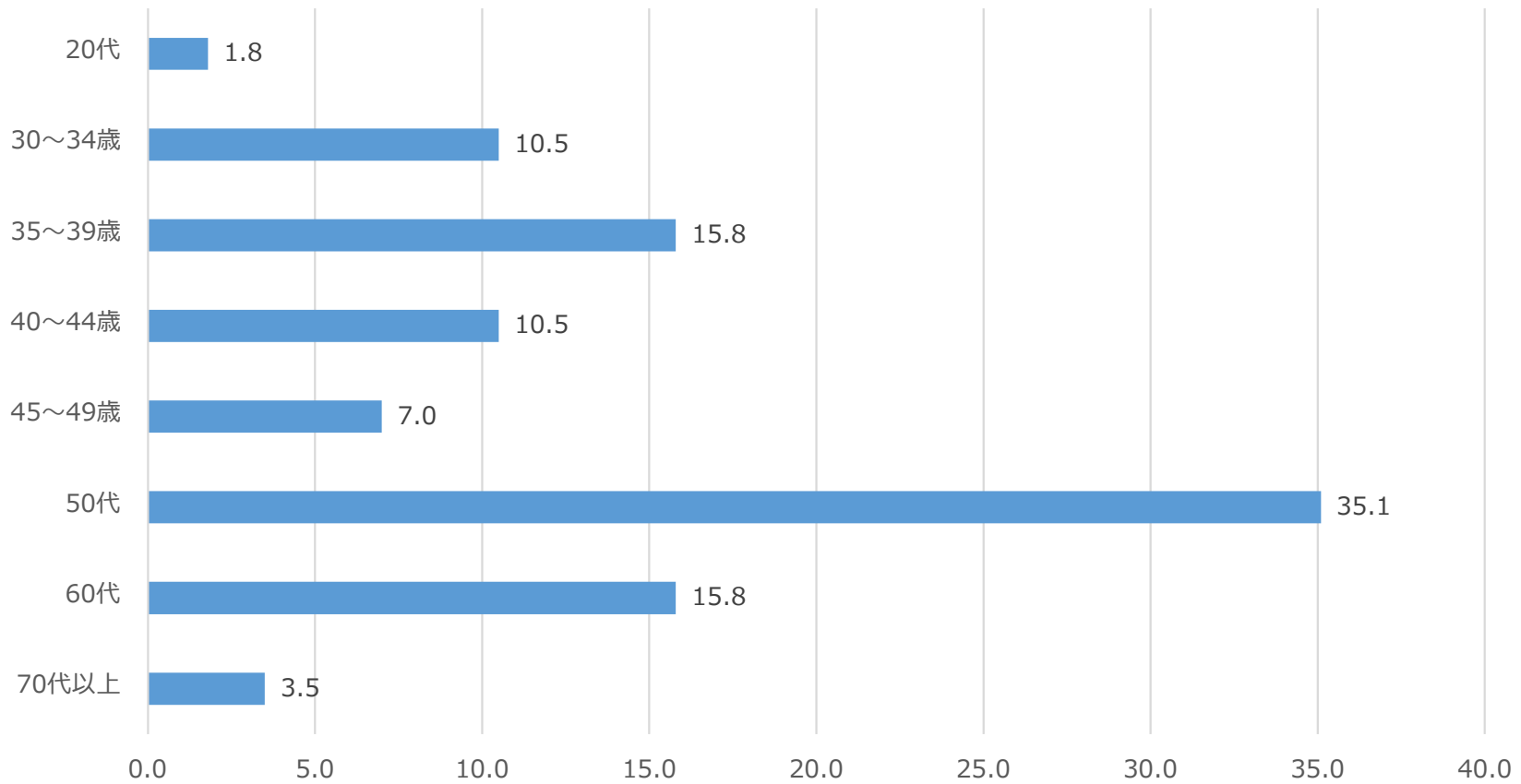
## 特記事項

自由記述回答は職種によるセグメント毎に抜粋し表記。

# ■ 回答者プロフィール：年齢（1/4）

n=57

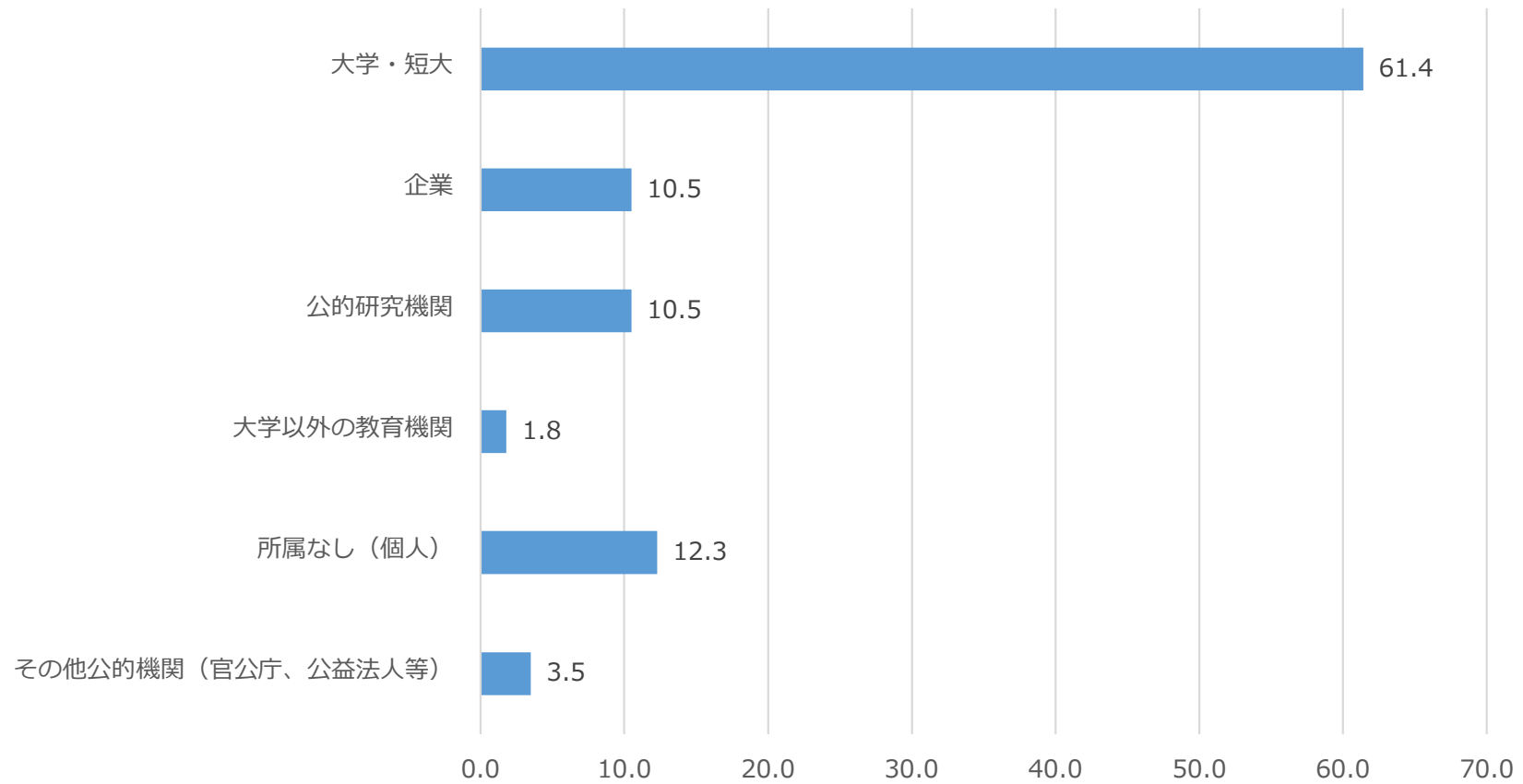
単位：%



# ■ 回答者プロフィール：所属（2/4）

n=57

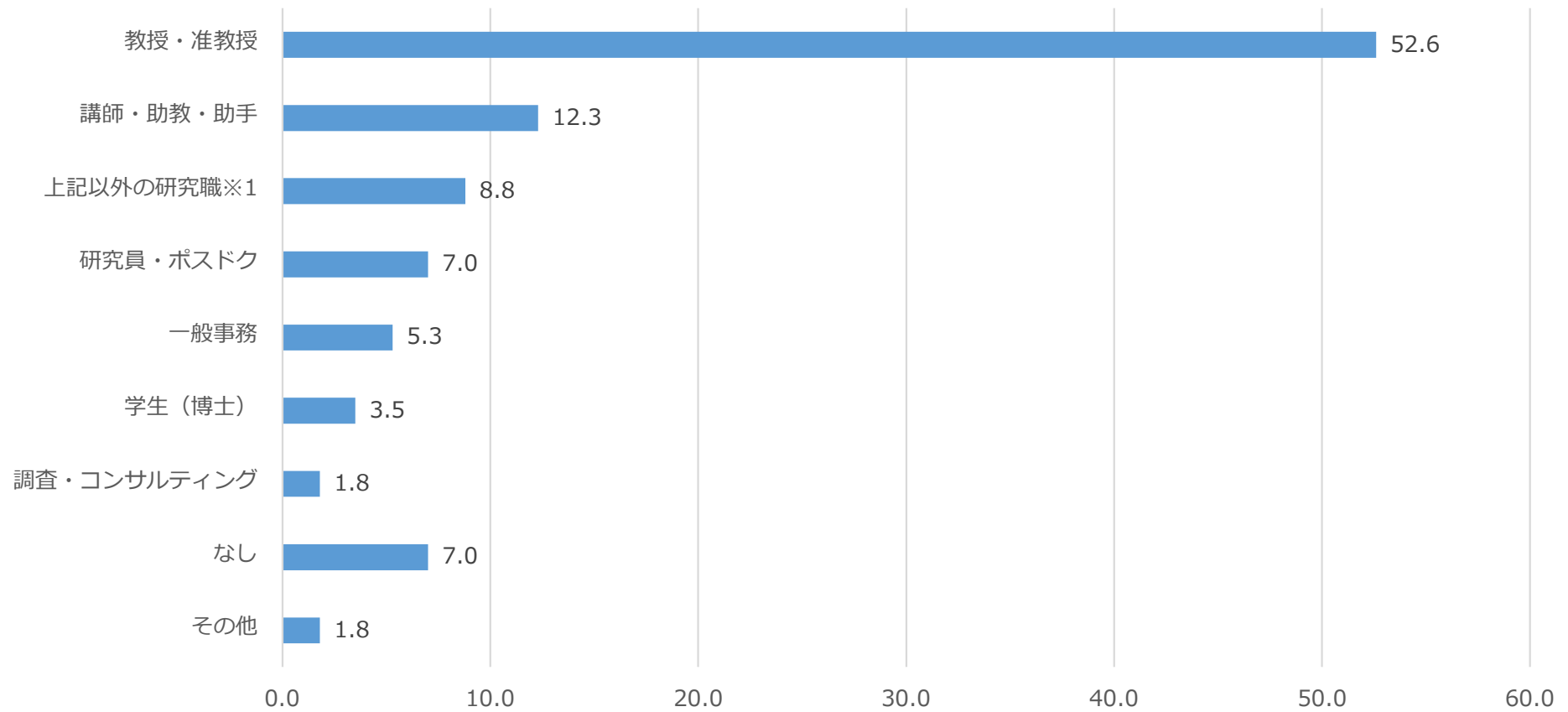
単位：%



# ■ 回答者プロフィール：職種（3/4）

n=57

単位：%

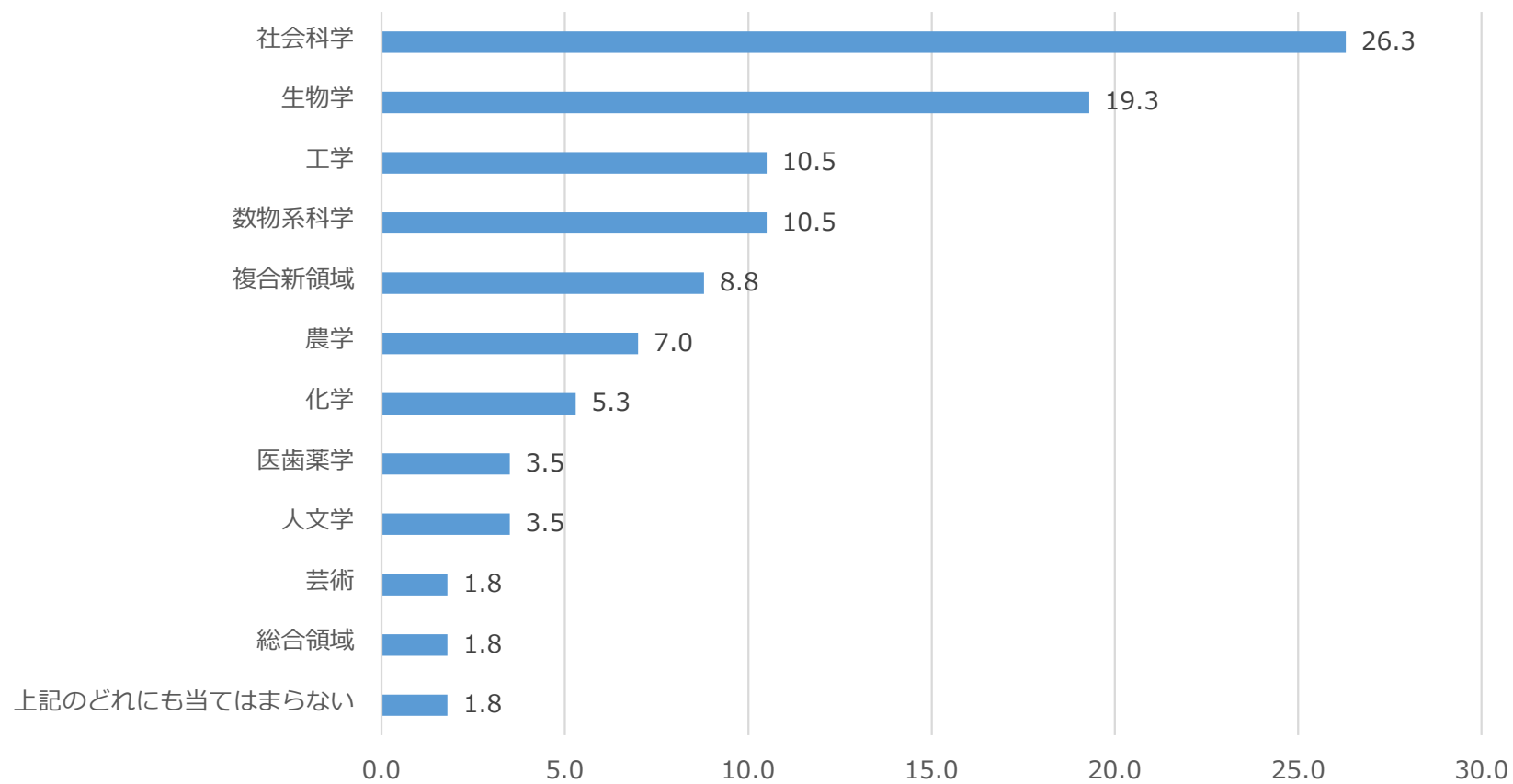


※1 上記以外の研究職：教授・准教授、講師・助教・助手、研究員・ポスドク以外の研究職

# ■ 回答者プロフィール：研究分野（4/4）

n=57

単位：%





## 調査結果 詳細

---

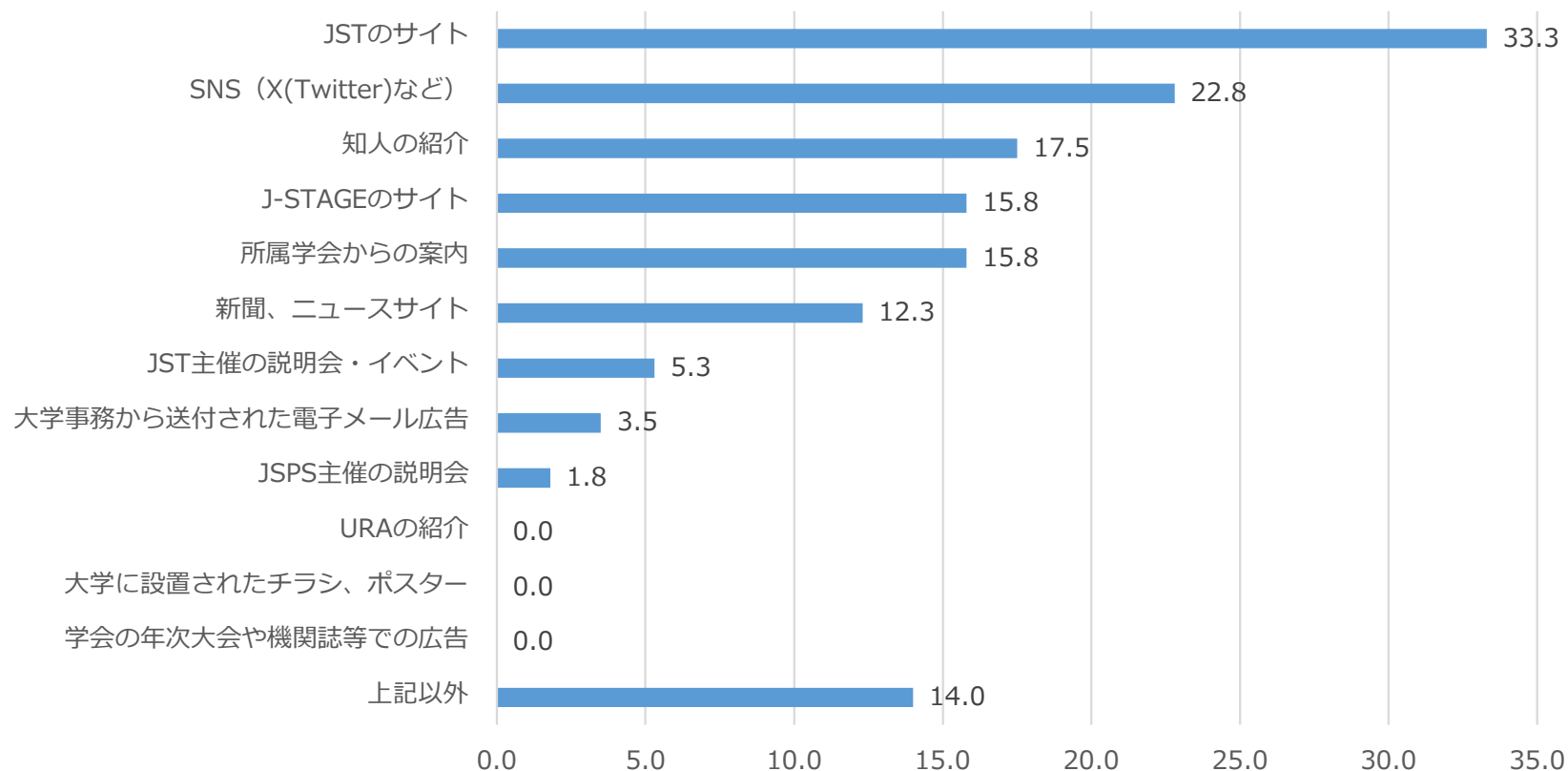
# ■ Jxivをどこで知ったか

Q1. Jxivをどこで知りましたか。該当するものを選んでください。【複数選択可】

● Jxivをどこで知ったかは、「JSTのサイト」が33.3%と最も高く、次いで「SNS（X(Twitter)など）」の22.8%、「知人の紹介」の17.5%の順に続いている。

n=57

単位：%



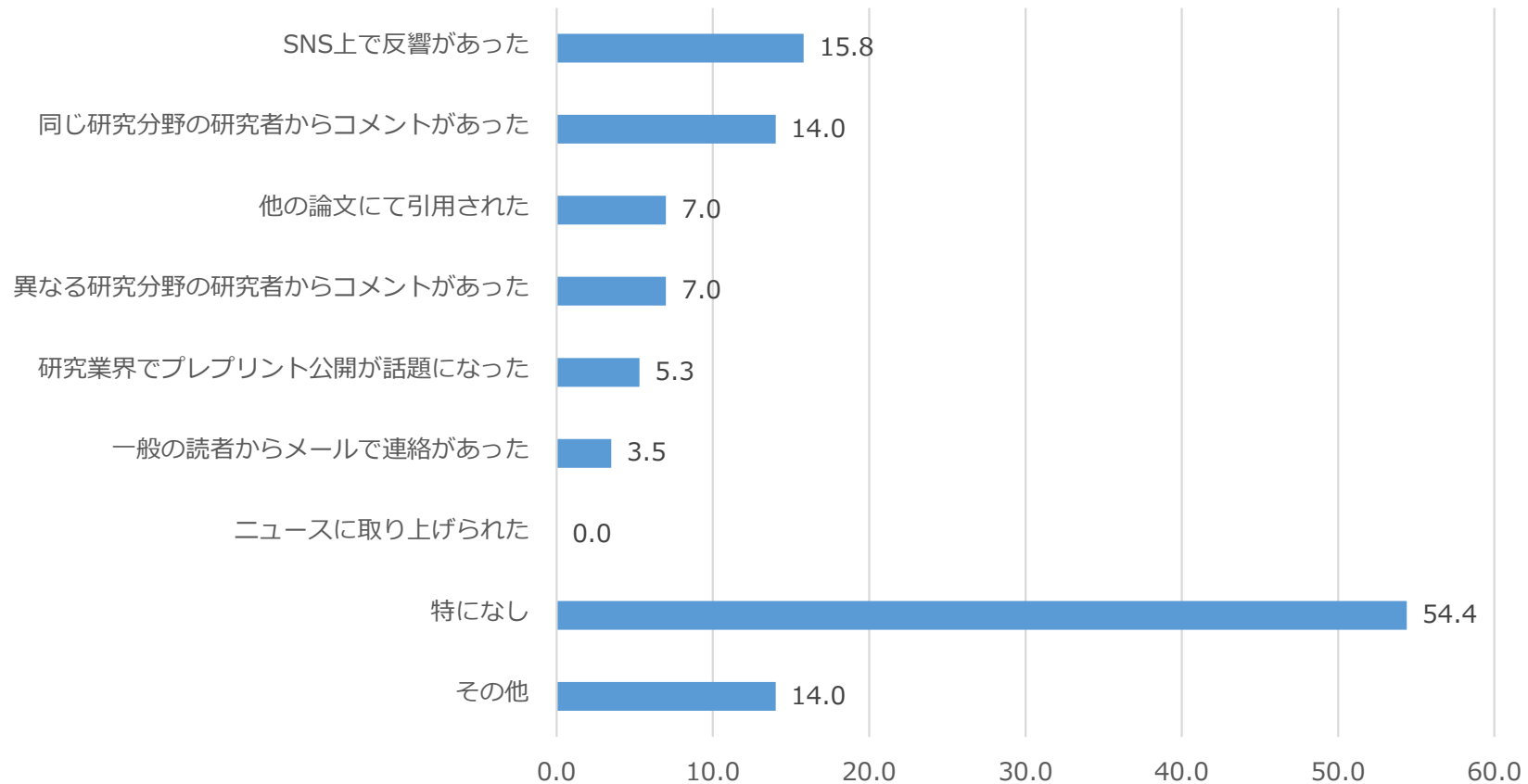
# ■ Jxivに投稿したプレプリントに対し、得られた反応や反響

Q2. Jxivに投稿したプレプリントに対し、得られた反応や反響があれば選んでください。【複数選択可】

● Jxivで公開したプレプリントに対し、得られた反応や反響は、「SNS上で反響があった」が15.8%と最も高く、次いで「同じ研究分野の研究者からコメントがあった」の14.0%、「他の論文にて引用された」「異なる研究分野の研究者からコメントがあった」の7.0%の順に続いている。

n=57

単位：%



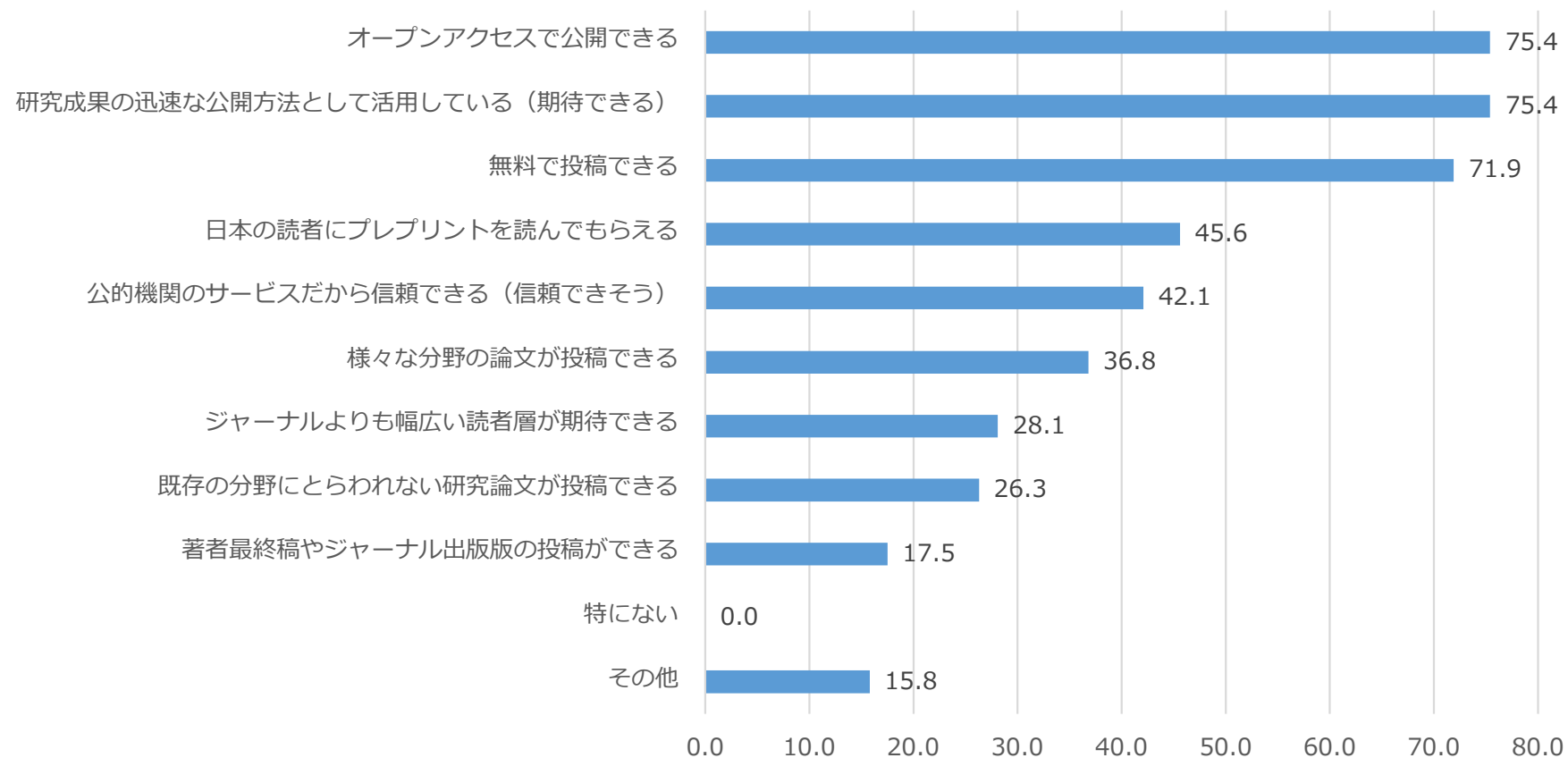
# ■ Jxivが自身の研究活動に有用な点

Q3. Jxivが自身の研究活動に有用となっている点があれば選んでください。【複数選択可】

● Jxivが役に立っている点は、「オープンアクセスで公開できる」「研究成果の迅速な公開方法として活用している（期待できる）」がともに75.4%と最も高く、次いで、「無料で投稿できる」の71.9%の順に続いている。

n=57

単位：%



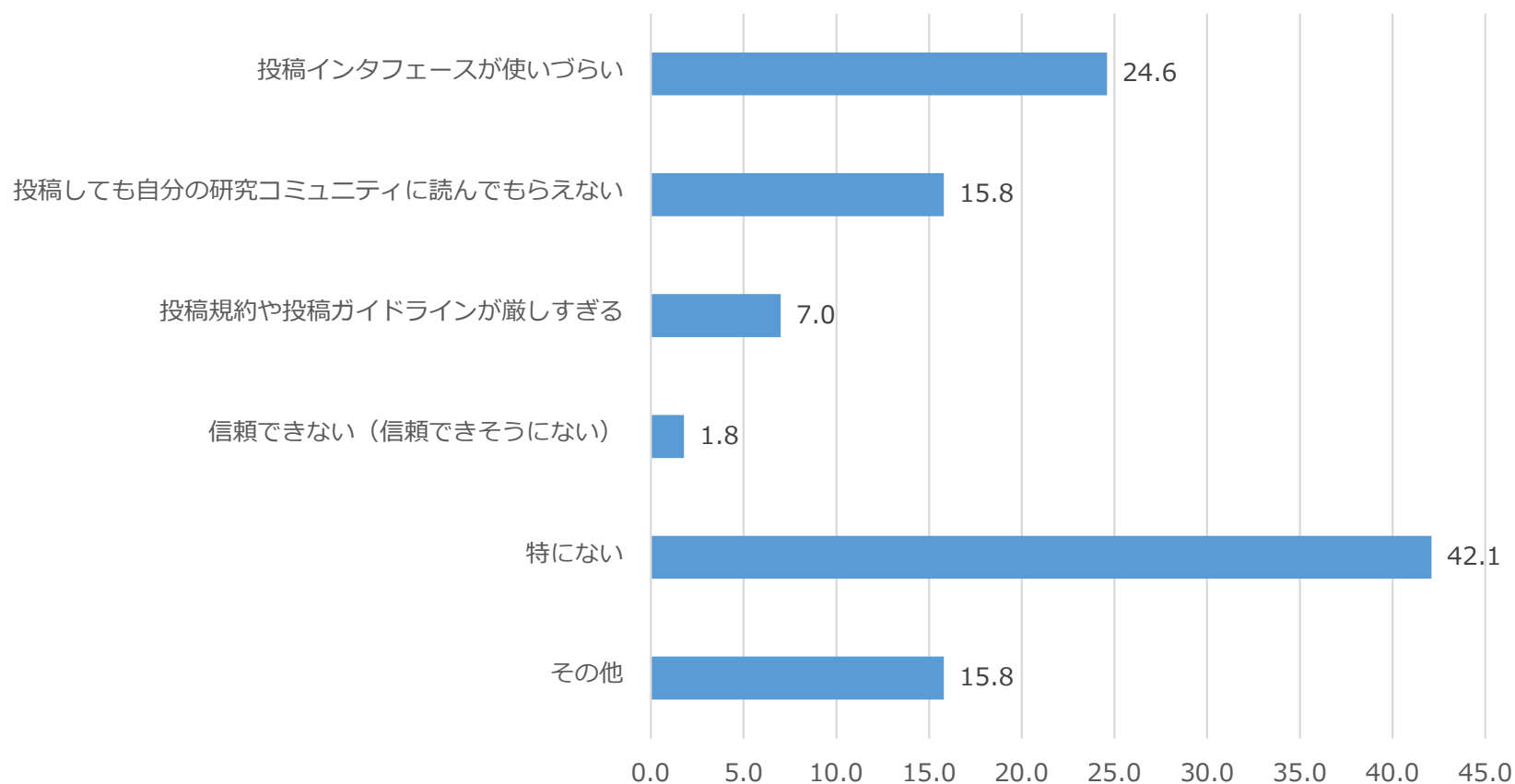
# ■ Jxivが自身の研究活動に有用でない点

Q4. Jxivが自身の研究活動に有用でない点があれば選んでください。【複数選択可】

● Jxivが役に立っていない点は、「投稿インターフェースが使いづらい」が24.6%と最も高く、次いで「投稿しても自分の研究コミュニティに読んでもらえない」の15.8%、「投稿規定や投稿ガイドラインが厳しすぎる」の7.0%の順に続いている。「特にない」は42.1%であった。

n=57

単位：%



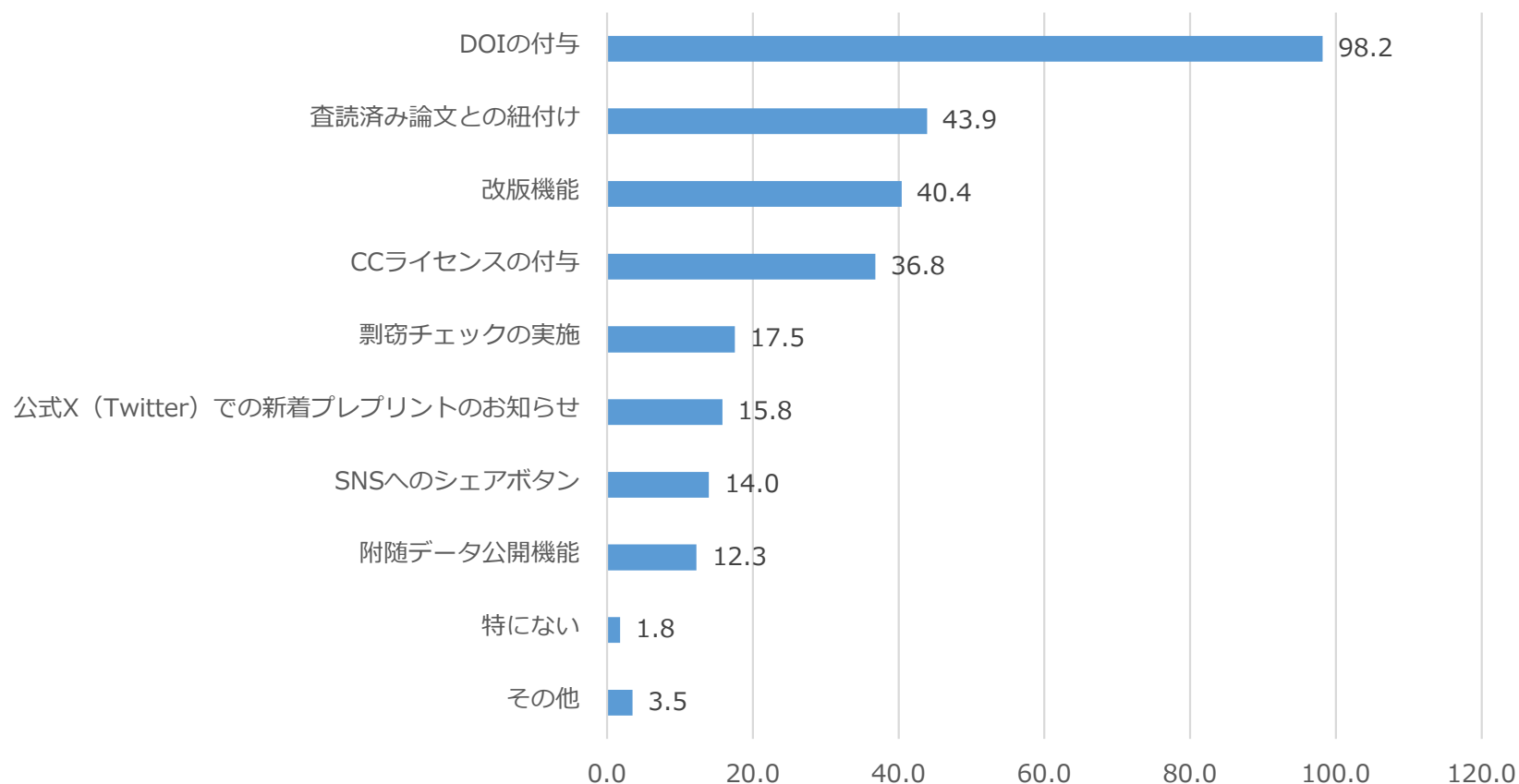
# ■ Jxivの投稿に関する機能のうち有用なもの

Q5. Jxivの投稿に関する機能のうち有用なものを選んでください。【複数選択可】

● Jxivの投稿に関する機能のうち役に立っているものは、「DOIの付与」が98.2%と最も高く、次いで「査読済み論文との紐付け」の43.9%、「改版機能」の40.4%の順に続いている。

n=57

単位：%



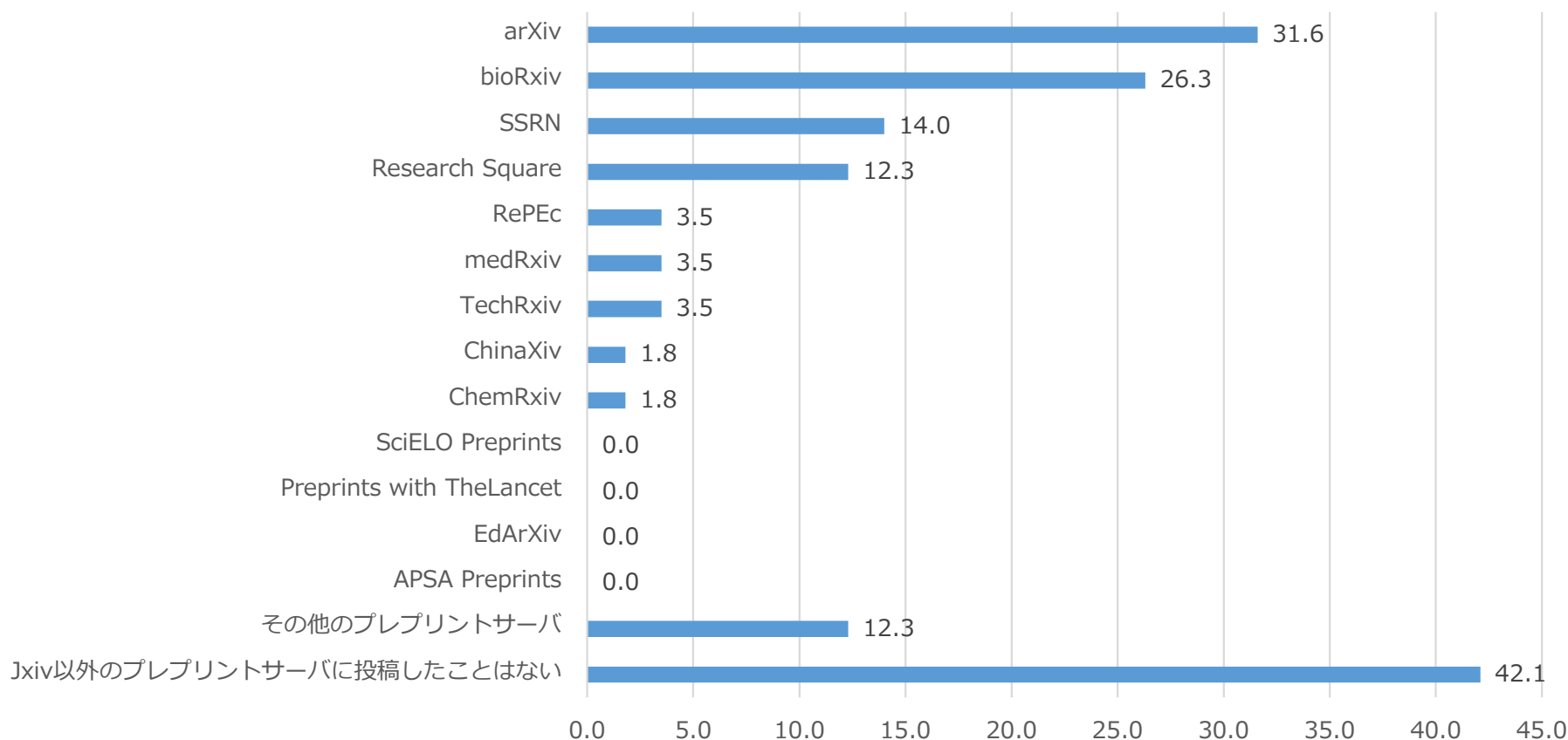
# ■ Jxiv以外で投稿したことがあるプレプリントサーバ

Q6. Jxiv以外のプレプリントサーバにプレプリントを投稿したことがありますか。投稿したことがあるプレプリントサーバを選んでください。【複数選択可】

● Jxiv以外で投稿したことがあるプレプリントサーバは、「arXiv」が31.6%と最も高く、次いで「bioRxiv」の26.3%、「SSRN」の14.0%の順に続いている。「Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿したことはない」は42.1%であった。

n=57

単位：%



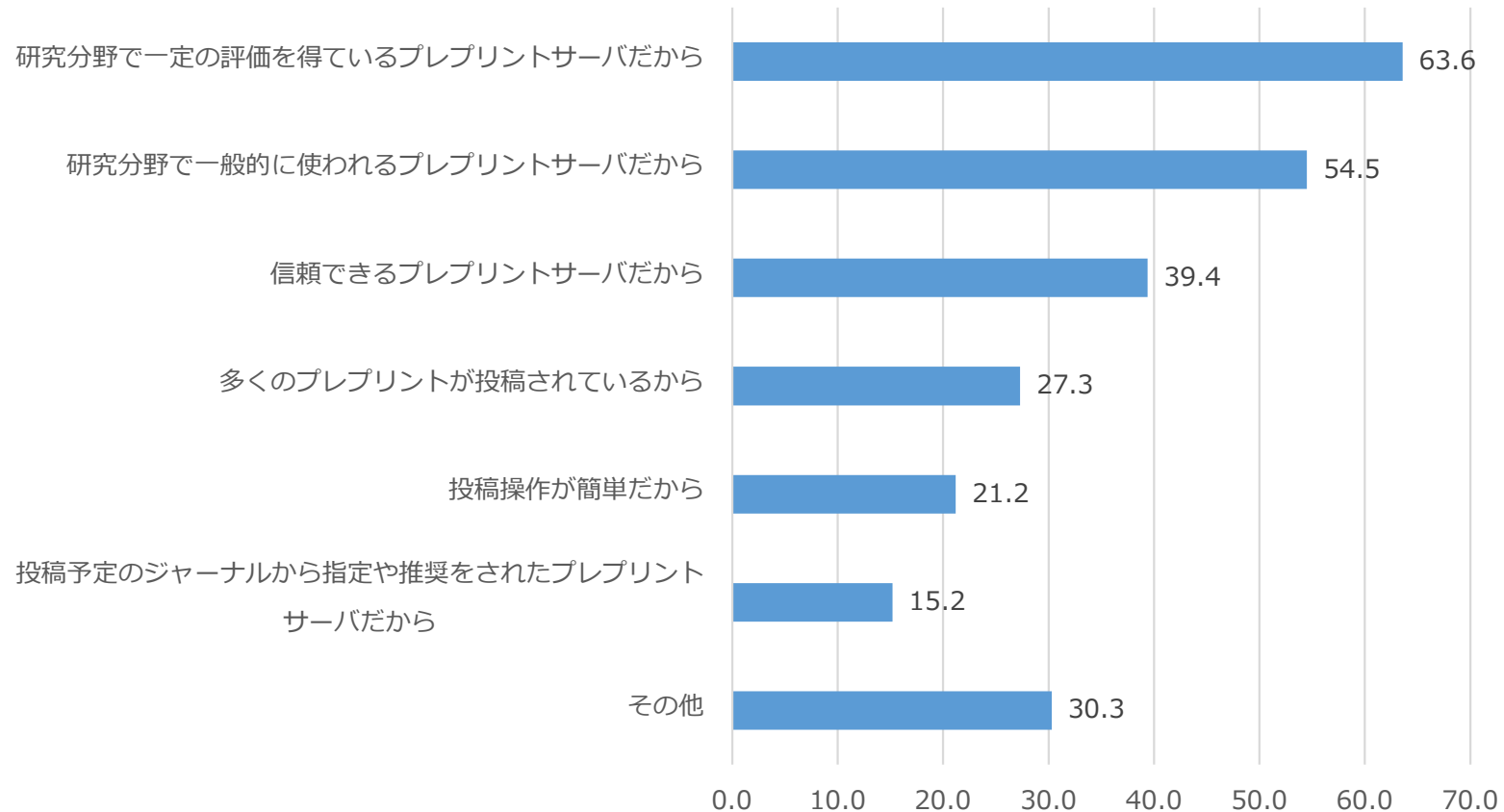
# ■ Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿した理由

Q6-1. Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿した理由を選んでください。【複数選択可】

● Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿した理由は、「研究分野で一定の評価を得ているプレプリントサーバだから」が63.6%と最も高く、次いで「研究分野で一般的に使われるプレプリントサーバだから」の54.5%、「信頼できるプレプリントサーバだから」の39.4%の順が続いている。

n=33

単位：%



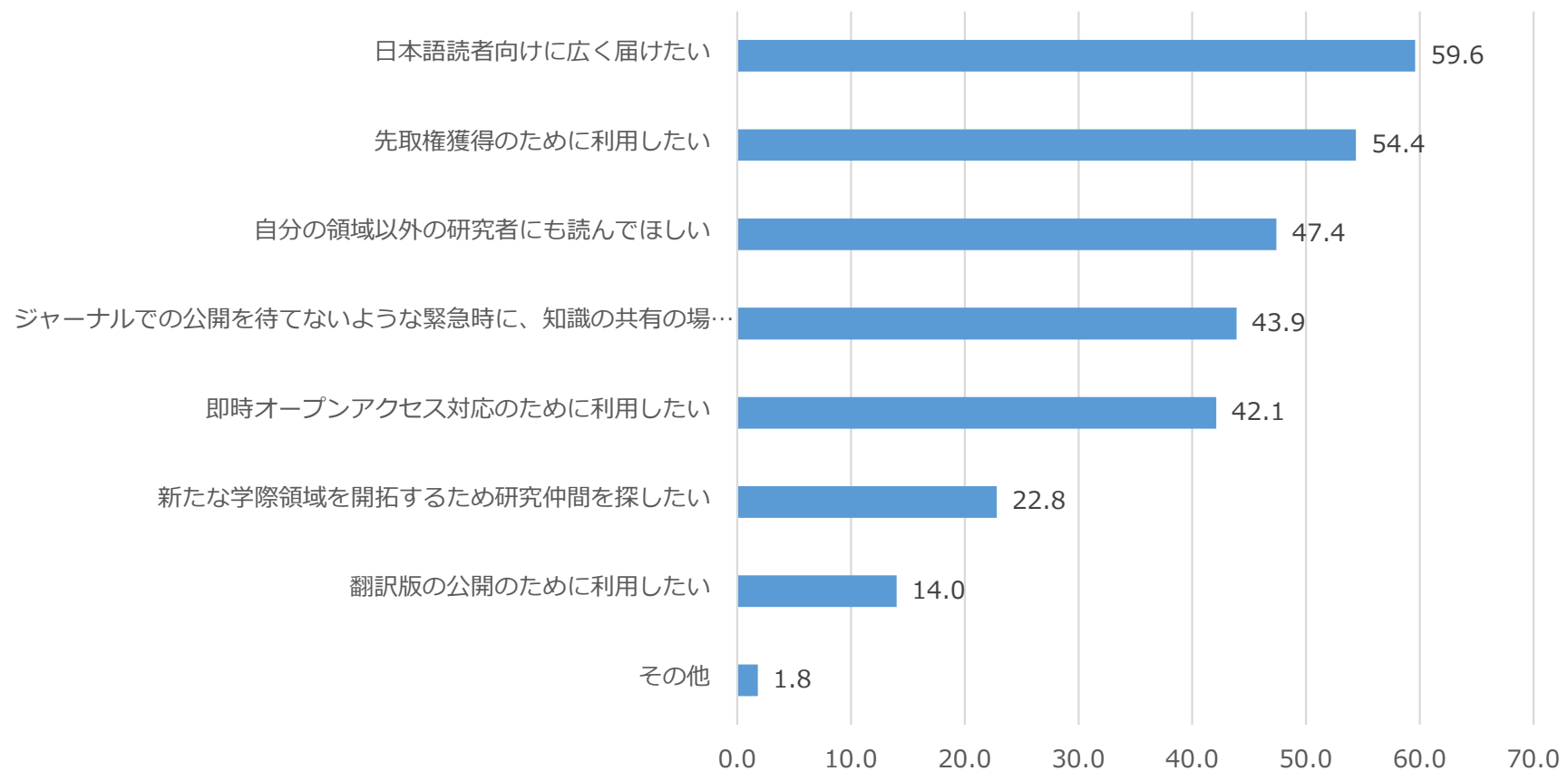
# ■ 研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思うか

Q7. 研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思いますか。【複数選択可】

● 研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思うかは、「日本語読者向けに広く届けたい」が59.6%と最も高く、次いで「先取権獲得のために利用したい」の54.4%、「自分の領域以外の研究者にも読んでほしい」の47.4%の順に続いている。

n=57

単位：%



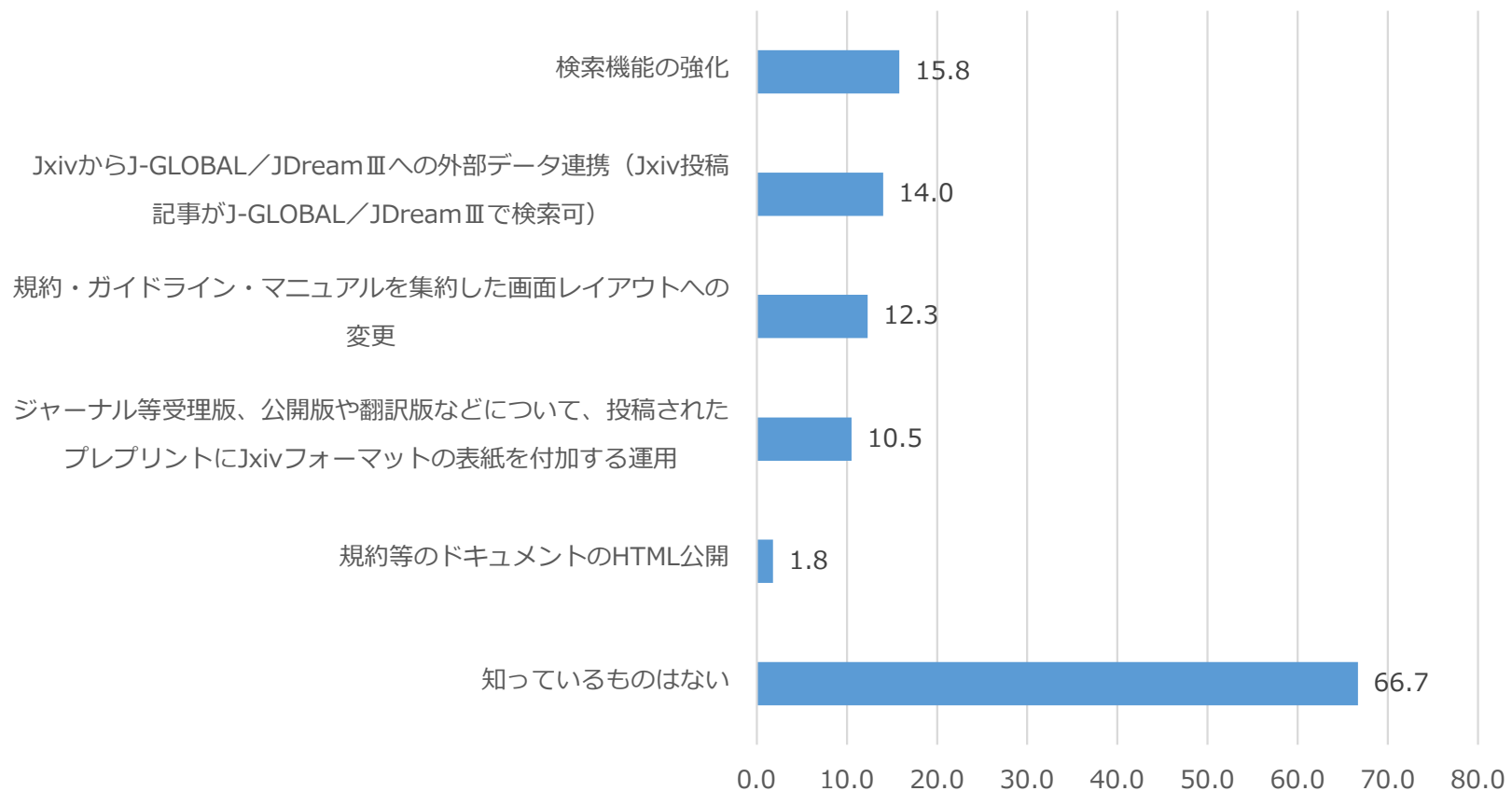
# ■ Jxivが近年リリースした機能・サービスのうち知っているもの

Q8. Jxivが近年リリースした機能・サービスのうちご存じのものを選んでください。【複数選択可】

● Jxivが近年リリースした機能・サービスのうち知っているものは、「検索機能の強化」が15.8%と最も高く、次いで「JxivからJ-GLOBAL/JDreamⅢへの外部データ連携（Jxiv投稿記事がJ-GLOBAL/JDreamⅢで検索可）」の14.0%、「規約・ガイドライン・マニュアルを集約した画面レイアウトへの変更」の12.3%の順に続いている。「知っているものはない」は 66.7%であった。

n=57

単位：%



# ■ Jxivへの意見・要望

## Q9. Jxivの投稿や公開に関するご意見・ご要望を具体的に書いてください。【任意】

### ■ 職種別に、自由記述回答の一部を抜粋（原文のまま記載）。

#### 【教授・准教授】 -----

- 利用者が少なすぎるので宣伝活動をして頂きたい。あと、利用者が少なすぎるので運用停止になる心配があります。
- arXivは紹介制なので、新規領域に投稿するとき、若手が投稿するときの障壁となっています。それをうまく取り込んでいただければと思います。
- 著者情報を入れる項目がわかりづらく、最初のアップロード後、何度も担当者とのやりとりが必要だった。bioRxiv同等の公開しやすさに向上してほしい。
- 英語版でどこかの論文誌に投稿する前に、日本語版を Jxiv に投稿することができるかどうかを Jxiv にお尋ねしました。たいへん丁寧なお返事をいただき、まことに感謝しています。学会の他のメンバーにも Jxiv の存在を知らせたところ、是非活用したいと喜んでいました。
- 引用文献一覧をbibファイルでも受け付けられるようにしてほしい。LaTeXで執筆している場合、現状で論文PDFからコピーして空白や改行を手作業で除去するなどの整形が必要になり、チェック担当者にも手間ではないかと推察する。
- 各ページに引用のための情報を掲載してほしい。他の雑誌などではDOI情報だけでなく、各種雑誌等の書式に対応したCitation情報が表示されることが多いです。

#### 【講師・助教・助手】 -----

- J-STAGEや学協会誌への投稿と連動して、プレプリント版と査読後版の相互リンクやバージョン情報を自動で紐付ける機能があると、読者にとっても著者にとっても、引用先や最新版の確認が容易になると考えます。
- SNSなどで共有する際、私が書いた論文のリストなどを公開できると嬉しいので、著者が書いた論文のリストか、もしくは著者名の検索結果が外部に共有できるようにしてほしい
- 過度に内容に踏み込む査読まがいのクオリティチェックがないため、とても迅速に内容を公開でき大変重宝しております。国際的なプレプリントサーバーへの投稿を優先する向きもあると存じますが、運営主体によるgatekeepingが原理的には可能であるため、日本人研究者にとってのリスク分散のために日本独自のプレプリントサーバーを維持することは極めて重要だと思います。今後ともJxivが発展することを期待しています。

#### 【研究員・ポスドク】 -----

- Jxiv は信頼できるプレプリント サーバーであり、さまざまな形式の研究論文の投稿を許可しています。そのため、レビューや意見などの研究内容を投稿することは容易に考えられます。Jxiv は研究のオープンアクセスのために DOI も提供しています。しかし、研究内容を投稿するのは時々本当に面倒です。それは以下の点から理解できます。1. Jxiv では、大学名や機関名のほかに、特定の学部や学校名が必要で、それが時々本当に面倒です。場合によっては、学部や学校名を直接記載することが難しい場合もあります。したがって、大学名を提供するだけで十分です。2. また、Jxiv では別のセクションに参考文献リストを記載することが求められており、これも対処する必要があります。3. Jxiv は、投稿前の詳細な分析ではなく、プレプリントを投稿するための最低限必要なフィールドについて考える必要があります。

#### 【教授・准教授、講師・助教・助手、研究員・ポスドク以外の研究職】 -----

- 投稿の入力がわかりにくい。日本語と英語を切り替えるのではなく、別のカラムにして日本語を入れなくてもよい設定にしてもらえば、迷わない。

#### 【一般事務】 -----

- 統計情報（アクセスやダウンロードなど）をもっと充実してほしい。

#### 【なし】 -----

- 著者が完全な著作権を保持していることを前提に投稿を受け付けるジャーナルがあるので、CCライセンスは厳しいです。
- 今後はアカデミア以外の非職業研究者もアカデミアの世界にAIの助けを借りて参入してくると思う。もちろんオリジナルなアイデアや発想は人間が行うとしても、学術論文という形式で発表するにはAIのサポート（形式化、文献検索、翻訳、校正作業、etc.）は必須。そうすれば、非職業研究者（特に企業を引退した元技術系エンジニアや研究者）の知的創造性発揮の交流の場として、Jxivは極めて有意義な学術的生態系として今後も発展すると思う。キーワード：AIと人間との『創造的発見』と『発見的創造』のコラボレーション



## 質問票

---

# ■ 質問票 (1/3)

## Q1. Jxivをどこで知りましたか。該当するものを選んでください。【複数選択可】

1. 所属学会からの案内
2. 学会の年次大会や機関誌等での広告
3. 大学事務から送付された電子メール広告
4. 大学に設置されたチラシ、ポスター
5. JSTのサイト
6. J-STAGEのサイト
7. JST主催の説明会・イベント
8. JSPS主催の説明会
9. URAの紹介
10. 知人の紹介
11. SNS (X(Twitter)など)
12. 新聞、ニュースサイト
13. 上記以外 (自由入力必須)

## Q2. Jxivに投稿したプレプリントに対し、得られた反応や反響があれば選んでください。【複数選択可】

1. 同じ研究分野の研究者からコメントがあった
2. 異なる研究分野の研究者からコメントがあった
3. 一般の読者からメールで連絡があった
4. 研究業界でプレプリント公開が話題になった
5. SNS上で反響があった
6. ニュースに取り上げられた
7. 他の論文にて引用された
8. その他 (自由入力必須)
9. 特になし

## Q3. Jxivが自身の研究活動に有用となっている点があれば選んでください。【複数選択可】

1. 様々な分野の論文が投稿できる
2. 既存の分野にとらわれない研究論文が投稿できる
3. 研究成果の迅速な公開方法として活用している (期待できる)
4. オープンアクセスで公開できる
5. 著者最終稿やジャーナル出版版の投稿ができる
6. ジャーナルよりも幅広い読者層が期待できる
7. 日本の読者にプレプリントを読んでもらえる
8. 公的機関のサービスだから信頼できる (信頼できそう)
9. 無料で投稿できる
10. その他 (自由入力必須)
11. 特になし

## Q4. Jxivが自身の研究活動に有用でない点があれば選んでください。【複数選択可】

1. 投稿しても自分の研究コミュニティに読んでももらえない
2. 投稿規約や投稿ガイドラインが厳しすぎる
3. 信頼できない (信頼できそうにない)
4. 投稿インターフェースが使いづらい
5. その他 (自由入力必須)
6. 特になし

## Q5. Jxivの投稿に関する機能のうち有用なものを選んでください。【複数選択可】

1. DOIの付与
2. CCライセンスの付与
3. 査読済み論文との紐付け
4. SNSへのシェアボタン
5. 剽窃チェックの実施
6. 改版機能
7. 附随データ公開機能
8. 公式X (Twitter) での新着プレプリントのお知らせ
9. その他 (自由入力必須)
10. 特になし

## Q6. Jxiv以外のプレプリントサーバにプレプリントを投稿したことがありますか。投稿したことがあるプレプリントサーバを選んでください。【複数選択可】

1. TechRxiv
2. ChemRxiv
3. bioRxiv
4. medRxiv
5. RePEc
6. arXiv
7. APSA Preprints
8. EdArXiv
9. SSRN
10. Research Square
11. Preprints with The Lancet
12. SciELO Preprints
13. ChinaXiv
14. その他のプレプリントサーバ (自由入力必須)
15. Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿したことはない

# ■ 質問票 (2/3)

## Q6-1. Jxiv以外のプレプリントサーバに投稿した理由を選んでください。【複数選択可】

1. 研究分野で一定の評価を得ているプレプリントサーバだから
2. 研究分野で一般的に使われるプレプリントサーバだから
3. 多くのプレプリントが投稿されているから
4. 投稿操作が簡単だから
5. 投稿予定のジャーナルから指定や推奨をされたプレプリントサーバだから
6. 信頼できるプレプリントサーバだから
7. その他（自由入力必須）

## Q7. 研究活動の中で、Jxivをどのように利用したいと思いますか。【複数選択可】

1. 新たな学際領域を開拓するため研究仲間を探したい
2. 自分の領域以外の研究者にも読んでほしい
3. 日本語読者向けに広く届けたい
4. ジャーナルでの公開を待てないような緊急時に、知識の共有の場として利用したい
5. 先取権獲得のために利用したい
6. 翻訳版の公開のために利用したい
7. 即時オープンアクセス対応のために利用したい
8. その他（自由入力必須）

## Q8. Jxivが近年リリースした機能・サービスのうちご存じのものを選んでください。【複数選択可】

1. JxivからJ-GLOBAL/JDreamⅢへの外部データ連携（Jxiv投稿記事がJ-GLOBAL/JDreamⅢで検索可）
2. ジャーナル等受理版、公開版や翻訳版などについて、投稿されたプレプリントにJxivフォーマットの表紙を付加する運用
3. 検索機能の強化
4. 規約・ガイドライン・マニュアルを集約した画面レイアウトへの変更
5. 規約等のドキュメントのHTML公開
6. 知っているものはない

## Q9. Jxivの投稿や公開に関するご意見・ご要望を具体的に書いてください。【任意】

# ■ 質問票 (3/3) 回答者プロフィール

## Q10. 年齢をお選びください。【1つ選択】

1. 10代
3. 30～34歳
4. 35～39歳
5. 40～44歳
6. 45～49歳
7. 50代
8. 60代
9. 70代以上

## Q11. 現在の所属をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【1つ選択】

1. 大学・短大
2. 公的研究機関
3. その他公的機関（官公庁、公益法人等）
4. 大学以外の教育機関
5. 企業
6. 病院等医療機関
7. その他（自由入力必須）
8. 所属なし（個人）

## Q12. 現在の職種をお選びください。（複数ある場合は主たるもの）【1つ選択】

1. 教授・准教授
2. 講師・助教・助手
3. 研究員・ポスドク
4. 上記以外の研究職
5. 企画
6. 設計・開発
7. 製造
8. 営業・販売
9. 調査・コンサルティング
10. 一般事務
11. 学生（博士）
12. 学生（修士・学部）
13. 医師
14. 看護師
15. その他（自由入力必須）
16. なし

## Q13. あなたの専門に最も近い研究分野をひとつお選びください。【1つ選択】

1. 人文学
2. 社会科学
3. 数物系科学
4. 化学
5. 工学
6. 生物学
7. 農学
8. 医歯薬学
9. 芸術
10. 総合領域
11. 複合新領域
12. 上記のどれにも当てはまらない